

サルスベリ

【 区画⑨(47) 】

がくめい 学名	<i>Lagerstroemia indica</i> L.	ぶんるい 分類	ミソハギ科サルスベリ属
ぶんぶ 分布	にほんかくち かんしやうよう ていえんとう さいしよく 日本各地で観賞用として庭園等に栽植	じゅこう 樹高	ていど らくやうしやうこうぼく 3~7m程度の落葉小高木

〈 特徴等 〉

なまえ ゆらい 名前の由来	・木のはだがつるつるしてサルも滑り落ちるということから名づけられた。		
は 葉の特徴	① じやうりよく 常緑 ・ らくやう 落葉	② こうやう 広葉 ・ しんやう 針葉	
	③ たいせい 対生 ・ ごせい 互生	④ たんやう 単葉 ・ ふくやう 複葉	⑤ きよしえん 鋸歯縁 ・ ぜんえん 全縁
かいかとう 開花等	・夏から秋(7~10月)にかけて、紅色や白色の花が集まって咲く。		
けつじつとう 結実等	・10月頃に、楕円体で表面の皮(果皮)が堅い茶褐色の果実をつける。		
ほか その他	<ul style="list-style-type: none"> ・花期が長いことから「百日紅」の別名がある。 ・樹皮がまだらにはがれて、明るい茶色になり、表面はつるつるになる。 		

〈 写真 〉

		
じゅもく 樹木 (5/12)	じゅひ 樹皮 (4/3)	はのつきかた 葉の付き方 (5/12)
		
は 葉 (6/12)	はな 花 (/)	かじつ 果実(実) (/)

〈 参考文献 〉 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p. 753.
林 将之 (2018) 『葉で見わかる樹木 増補改訂版』小学館, p. 131.